

かけはし

ひとり親家庭応援事業「コロナに負けちゃし」"笑顔で夏休みを楽しむじゃん"-P6-



P2-3: 令和3年度 事業報告・事業別決算報告

P4-5: [特集] ボランティア活動のご紹介

P6: ひとり親家庭応援事業「コロナに負けちゃし」"笑顔で夏休みを楽しむじゃん"/あい子ども応援基金/善意の寄付・寄贈の御礼

P7: 赤い羽根共同募金/障害者地域活動支援センター「ふえふき」石和から春日居に移転しました!
ホームヘルパーのほっこり話~自分らしい生活を取り戻す~

P8: 第14回笛吹市社会福祉大会



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

発行責任者: 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 竹内 稔

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。



笛吹社協 各地域事務所 お問い合わせ先一覧

本 所 TEL.055-265-5182 石和地域事務所 TEL.055-262-1267 御坂地域事務所 TEL.055-287-7355 一宮地域事務所 TEL.0553-47-2288
八代地域事務所 TEL.055-265-2240 境川地域事務所 TEL.055-266-5911 春日居地域事務所 TEL.0553-26-3667 芦川地域事務所 TEL.055-298-2170



令和3年度 事業報告 ～社協と地域住民一体の取り組み～



笛吹市社会福祉協議会
会長 竹内 稔

地域共生社会の実現のために"いま"できること

笛吹市社会福祉協議会(以下「社協」)は、「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」を基本理念として、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も様々な制度やサービスを使いながら、地域の支え合いの中でその人らしく生き生きと暮らせることを目指し、地域住民、地域福祉推進委員、民生委員・児童委員、ボランティア、関係機関の皆さまと一緒に考え一緒に行動する「協働」を活動の基本として、コロナ禍における新しい生活様式に合わせた地域づくりを推進してきました。

令和3年度は、「地域共生社会の実現を進めること」を重点目標とし、取り組んで参りました。

親子の笑顔のために"いま"できること

社協は、他の社会福祉法人では取組みにくい制度やサービスにない課題に取り組んできました。

社協が特に力を入れているひとり親家庭への支援では、7月に「笑顔で夏休みを迎えるじゃん事業」を開催し、その後、秋の10月・冬の12月・春の3月と、計4回の「笑顔で迎えるじゃん事業」を実施しました。

アンケートから聞こえた生の声を通じて、ひとり親家庭にフードバンクや制服リサイクル事業等の情報を提供したり、市役所や母子寡婦福祉会につなぐ等、ご家庭の生活状況に合わせた支援を行いました。



ボランティア活動の発展のために"いま"できること

ボランティアはコロナ禍で活動の自粛をよぎなくされ、モチベーションが下がることが全国的に危惧されました。そういった状況の中でも"いま"できることを、と笛吹市ボランティア連絡会(事務局:社協)では、「暮らし応援センター事業」を実施しました。

多くの皆さんから寄せられた日用品や食料品を、ひとり親家庭・生活困窮の高齢者を対象に無償配布しました。

受け取りに来られた親子からの「ありがとう」の声...地域住民とボランティアの気持ちの交流が、笛吹市におけるボランティア活動の一つの柱となりました。



在宅生活を支えるために"いま"できること

居宅介護支援事業所(ケアマネ)では、医療重度者や家族の支援が得られにくい方等の困難ケースの受け入れや、日々の検討会議による資質の向上等について高い評価を得ました。困難事例では、身寄りがなく経済的にも困窮している一人暮らしの高齢者に対して、制度につながるまでの様々な支援を実施しつつ、仕組みづくりに取り組みました。

さらに、自己決定能力の低下や判断能力に不安がある高齢者は、社協内の後見センターとの連携によって「日常生活自立支援事業」につないだり、制度では対応できない日々の困りごとに対しては、地域福祉課との連携によってボランティアにつなぐ等、制度の狭間の支援を社協内連携で実施しました。利用者様ご家族からも高い信頼を得ており、リピート率も高い数値となっています。



通所介護事業所(デイサービス)や訪問介護事業所(ヘルパー)では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するための体制を整えました。

また、制度外サービスとして、「デイにしながらのお買い物」等により介護サービスを受けながらも社会参加ができる体制を整えたり、緊急時対応として、通所介護事業所の「お泊りデイサービス」や訪問介護事業所の「お任せ安心サービス」により在宅生活を支えました。

社協は、住民の「困った」に対応するべく、制度の狭間の方への支援を先駆的に実施しながら、各部門が一致団結し、地域住民に寄り添いながら、地域に根差した活動を行ってきました。



令和3年度 事業別決算報告 ～笛吹市の地域福祉を支えるお金～



令和3年度は、当期活動増減差額が△38,639,668円と、たいへん厳しい決算になりました。これは、社協の収益全体の6割以上を占める介護保険事業収益が、前年度比△37,632,303円と大幅に減少したことによるものです。“笛吹市の地域福祉を支えるお金”を持続させるために、職員一丸となって収益増・経費削減に取り組んでいます。なお、“あい子ども応援基金”については、支え合いの輪が広がって、寄附金が増加しています。

障害者支援事業

障害者相談支援事業所、地域活動支援センターI型・III型、就労継続支援B型事業所、生活介護事業所を運営しています。

地域福祉事業

市内7箇所の地域事務所にて、住民主体による地域福祉の推進をめざし、制度だけでは対応しづらいさまざまな福祉課題に対して、「福祉サービスや相談援助などの個別支援」と「重層的な連携・協働による課題解決」を重視して、笛吹市に住む誰もが『福祉のまちづくり』の関係者となることができ、関係者が一緒になって課題解決のための機能をつくっていく、多者協働の場（プラットフォーム）としての取り組みを行っています。

費用

772,165,727円

指定管理事業

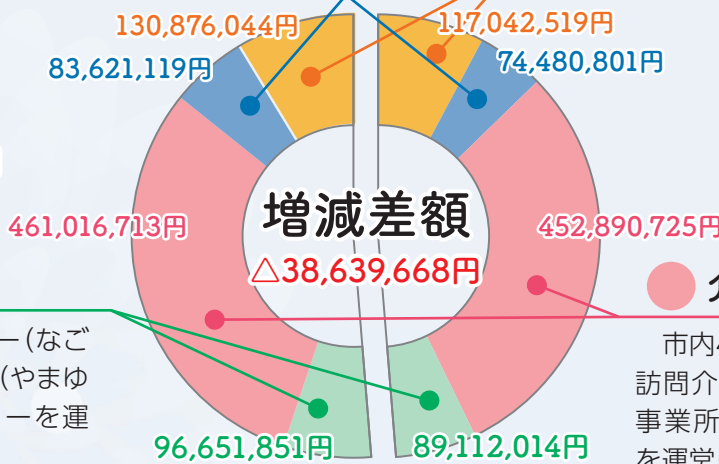
いさわふれあいセンター（なごみの湯）、春日居福祉会館（やまゆりの湯）、八代福祉センターを運営しています。

収益

733,526,059円

介護保険事業

市内4箇所の通所介護事業所、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを運営しています。



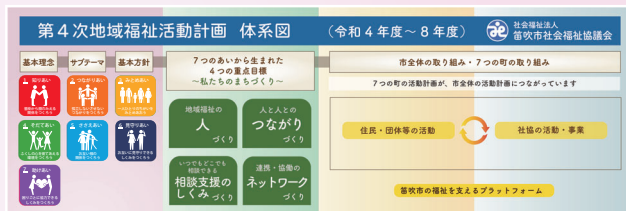
『笛吹市の福祉を支えるプラットフォーム』

★プラットフォームのエネルギーは、

- (1) 住民参加の促進
- (2) 職員の質の向上
- (3) 安定的な財政基盤の確保 です。

これらが安定的に供給され、良い循環を続けることで、笛吹市の福祉が支えられています。

『笛吹市の福祉を支えるプラットフォーム』の概念図



(1) 住民参加の促進

- ・社会課題の見える化
- ・福祉の制度やサービス等の広報活動、情報提供
- ・地域の福祉活動のPR
- ・社協の活動のPR
- ・社協応援団の増加
- ・地域福祉推進委員会との連携
- ・理事会の活性化、など

(2) 職員の質の向上

- ・職員の意識向上
- ・研修や実習等による育成
- ・専門資格取得の支援
- ・働きやすい職場環境づくり
- ・チームワークと部署間連携
- ・社協の魅力発信、など

(3) 安定的な財政基盤の確保

笛吹市の地域福祉の推進のために活用

会費・寄附金収入

普通会費、賛助会費、特別会費、寄附金、基金など

補助金・受託金収入

市補助金、市受託金、共同募金配分金、県社協受託金など

事業収入

介護保険事業、障害福祉サービス事業、権利擁護事業など

※「笛吹市第4次地域福祉活動計画」37頁より

ボランティア活動のご紹介

笛吹市内では、たくさんの方が元気にボランティア活動をしています。コロナ禍による活動の自粛でつながりが希薄になりがちですが、私たちの周りには、援助を必要とする方が大勢います。ボランティアは自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。今回は、市内のボランティア活動の一部をご紹介します。

ボランティア活動に参加してみませんか？

「どんなボランティアがあるの？」
「こんなことをやってみたい！」など、
お気軽にお近くの地域事務所までお問合せください。
お問合せ先は表紙をご覧ください。



障がい者の「はじめのいっぽ」をサポートするボランティア

支援センターふえふきは、障がいなどを持つ方の地域での活動の拠点となるよう障害者地域活動支援センターを運営し、様々な事業を展開しています。

「はじめのいっぽ」は、精神の病気や、視覚障がい等で外出が難しい方たちの外出や交流のきっかけづくりを行っています。1時間ほどのサロンですが、その場所や参加される方々に合わせてプログラムを用意しています。月に1回、様々な場所で行っています。10月は、石和なごみの湯を会場に楽しかった出来事などのお話をを行い、簡単なゲームや輪投げを行いました。

この「はじめのいっぽ」を応援してくれるボランティアの方々がいらっやいます。

その中の一人の坂本さんは、支援センターふえふきのデイケアなどにも参加され、精神障がいの方々のサポートを行っています。この日も皆さんと楽しく一緒に輪投げをするなど和やかな雰囲気作りのお手伝いをしてくださりました。参加者からは、おしゃべりができたり、ゲームができて楽しかったと感想をいただきました。



自己紹介から、楽しい出来事などお話をしています。



参加者と一緒に体を動かすことで、楽しい雰囲気を作ってくれています。

明るく、参加者を応援してくれる坂本さん。坂本さんがいるから参加しますという方もいて心強い味方です。



傾聴ボランティア「赤ずきん」

「お話を聴く」というボランティアの会です。お話し相手がいなくて寂しい思いをしている方のお話し相手をさせていただいております。現在は、コロナ禍のため、電話による傾聴を行っています。毎月第1木曜、定例会を開催しています。

ご関心のある方は、社会福祉協議会 地域福祉課までご連絡ください。



傾聴の方法や技術を実際の事例に基づき学んでいます。



聴いて、聴いて、相手の気持ちに寄り添います。

心のボランティアピアピア

ピアピアのみなさんは、障がい当事者の「仲間」として精神障がい者デイケアに参加しています。調理の仕方や野菜の作り方、対人関係の悩みなど、精神保健の専門的な知識や主婦の知恵を生かして、地域で暮らす住民として同じ目線からアドバイスをし、地域生活をサポートしています。また、誰でも参加可能な「おさわぎ会」の定期開催など、障がいがあっても安心して地域で生活ができるような社会参加や仲間づくりの機会をつくっています。



精神保健ボランティアと聞くと難しく思うかもしれませんが、やってみないと分からない！自分にどんなボランティアが合っているのか、なんでも試してみるといいですよ！



メンバーさんと一緒にポッチャを楽しんでいます。

夏休みボランティア体験

毎年夏休みに笛吹ローズクラブの皆さんの協力をいただいで、子どもたちが石和温泉駅前のバラの手入れや清掃活動をするボランティアの体験を行っています。

地域の皆さんと一緒にすることで、子どもたちが地域のボランティアの活動を知り、周囲に伝えることも目的としています。

誰もが安心して地域で暮らせるように「温かい心」をつなぎ、伝える石和町地域福祉推進委員会、町内のボランティア団体と連絡を取り合い、支え合い活動を広めている石和町ボランティア連絡会とも協力しながら行われています。



初めての作業も、教えてもらいながら楽しくできました



これからは、自分が手入れしたバラだと思ってみてね

一宮町生活支援ボランティア

一宮町住民の生活上の小さな困りごとに応える生活支援の活動を行うことにより、住民が安心して暮らせる地域づくりを目的として活動しています。

今年度行った活動の一部をご紹介します。高齢者世帯からの家の不用品をまとめてほしいという依頼。生活支援ボランティアだけではなく、依頼者や民生委員、地域の学生ボランティアが声をかけあって作業を行い、過ごしやすい衛生的な環境を整えていきました。依頼者からは「綺麗になってよかった。学生さんに話を聞いてもらったことも嬉しかったです。」との感想をいただきました。

その他にも床のシートの張替えや草刈り、粗大ゴミ出し、ゴミ捨てなどさまざま依頼に日々対応しています。



日頃の様子を聞きながら作業しています。

民生委員や学生ボランティアなど様々な支援者と連携を取っています。



制服リサイクルプロジェクト

地域防災と子どもたちの防災教育に力をいれたいと思い立ち上げた防災ブレイメン様。身近に防災を感じてもらいたく女性防災士3人、メンバー計7人で活動しています。活動を通して、ひとり親の方からの「制服のリサイクルはありますか」との問い合わせをきっかけに「制服リサイクル」の取り組みが令和4年2月より始まりました。

新たに入学するときは、制服・体育着・上履き・ランドセルなど思っている以上にお金がかかります。そこで、自宅で眠っている着なくなった制服や学用品などを後輩に託してリサイクルし助け合いの輪を広める活動がこの「制服リサイクルプロジェクト」です。

受け取った方からは、「制服(体育着)のサイズが合わなくて買い替えにもお金がかかるのでありがたい」などの声が聞かれています。このような活動が地域ごとに広がれば、ネットワークも広がるのではないかと代表の三枝様の想いをのせて、制服リサイクルプロジェクトに賛同していただける方・防災ブレイメン様の取り組みも含め一緒に活動していただける方も募集しています。



ランドセルもたくさん集まりました



譲渡会当日はボランティアさんのご協力もありました

芦川男衆・女衆ボランティアの会

芦川男衆・女衆ボランティアの会では、毎年他の団体と一緒に地域の美化活動を行っています。

今年の参加団体は、芦川町シニアクラブ連合会、芦川小学校みどりの少年・少女隊を中心に取り組みました。作業内容は、県道沿いに自生している山吹の手入れ、ゴミ拾いの収集です。

小学生からシニアクラブの幅広い世代が一緒に地域の美化活動を行うことで、住民同士のつながりも深まっていきました。



こどもたちもやる気満々！安全第一にしっかりと注意事項を説明します。

道路沿いはゴミがいっぱい！みんなで頑張ってきれいな芦川にしよう！



ひとり親家庭応援事業「コロナに負けちよし」 "笑顔で夏休みを楽しむじゃん"

笛吹市社会福祉協議会では、8月21日(日)に当会の複合福祉施設「スマイルいちのみや」で、ひとり親家庭応援事業「コロナに負けちよし」"笑顔で夏休みを楽しむじゃん"を開催しました。(完全予約制)

今回は、夏休みの思い出づくりが出来るよう、親子で楽しめる縁日を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、当日は、感染対策のため駐車場で、お米、食糧品、お菓子、日用品、温泉利用券等の無償配布のみ行いました。

保護者からは、「夏休み中、給食がないのでお米の減りが早くて本当に助かります。」「子どもが好きなお菓子が入っていて大喜びでした。」「久しぶりにお風呂(温泉)にゆっくり入れてリフレッシュできました。」などの声が寄せられました。長引くコロナ禍、物価高騰を受けて大変なご家庭もあるかと思えます。皆さんが、毎日を笑顔で過ごせることを願っています。

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に影響を受けているひとり親家庭が多くみられたことから、令和2年12月より子どもの長期休暇中に継続して行い今回で7回目になります。地域の企業様・地域住民の皆様からの「寄付や"あい子ども応援基金"を活用して実施しています。



各地域事務所
窓口にて
募金箱も設置
されています

<あい子ども応援基金>

地域の皆さんからの応援で『子ども達の健やかな成長と夢と希望を応援する』ための取り組みを行っていきます。

<基金の活用方法>

- ・食料品や物品購入費用など、ニーズに応じた活用
- ・事業に必要な事務費・人件費など
- *この寄付金は、法人税法第37条第4項、所得税第78条第2項に該当し、寄附控除が受けられます。

あい子ども応援基金の御礼

※順不同になります(4月~8月)

水平リーベ 代表
樋口滝人 様 [石和]
100,000円

金丸 信一 様 [境川]
金一封

株式会社境川カントリー倶楽部 様 [境川]
金一封

匿名希望 10,000円

善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

※順不同になります(4月~8月)

マルハン石和店 様 [石和]
>地域福祉の推進のため
お菓子4箱

青葉会 様 [石和]
>地域福祉推進のため
2,661円

さくらハウス石和 様 [石和]
>地域福祉推進のため
金一封

植村詔子 様 [石和]
>石和地域福祉活動のため
笛吹市地番入り地図

竹内 稔 様 [石和]
>地域福祉推進のため
100,000円

加々美恭子 様 [石和]
>一人親、子ども子育て関係のため
生理用品 10袋

水平リーベ代表 樋口滝人 様 [石和]
>ひとり親家庭応援のため
お米5kg×100袋

岡田仁 様 [一宮]
>町内で必要としている方へ
杖4本

株式会社 土橋製作所
(どばニコCLUB) 様 [八代]
>地域福祉推進のため
お茶11点、バスタオル8点、
タオル131点、ハンカチ11点

宇佐美幸弘 様 [境川]
>地域福祉推進のため
シーツ20箱、毛布1点、
タオルケット1点、タオル13枚

笛吹市立境川小学校 様 [境川]
>地域福祉推進のため
石鹸34点、ボディソープ3点、
バスタオル2点、タオル57点

シチズン電子タイメル株式会社
境川工場 様 [境川]
>地域社会へのお役立てのため
非常食50袋入3箱

戸野幸一 様 [春日居]
>必要とされる方へ
お米2kg1袋、缶詰4個、レトルト食品2袋

匿名希望 14件
食料品、介護用品、日用品など
多くのご寄付をいただきました。

「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」の実現をあなたの寄付で応援してください

笛吹社協では、個人の方、企業や団体からの寄付金を本所及び各地域事務所において常時受け付けています。お寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動に活用させていただきます。ご寄付にあたっては地域や事業所を指定することや、寄付金の使い道を指定する「指定寄付」も受け付けておりますので、寄付金が有効に活用されるようにご相談に乗らせていただきます。

お問い合わせ お近くの各地域地域事務所にご連絡ください。※表紙下部に記載



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

のご協力をお願いします。

第76回赤い羽根共同募金運動が、10月1日から始まりました。皆様の温かいご協力をお願いします。皆様からいただいた募金は、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに活用されています。

令和4年度募金目標額 13,599,000円

昨年度の笛吹市の募金総額は、皆様の温かいご支援とご協力により
12,747,468円となりました。

共同募金は、あらかじめ地域の福祉を推進するための要望をうけてから募金を行う計画募金であることから、目標額が設定されています。目標額を達成するため、1世帯あたりの目安額を設けています。笛吹市の家庭募金の目安額は1世帯800円です。あくまでも目安ですので、募金額は皆様のお気持ちでご協力いただければ結構です。家庭募金は各地域の役員さんにご協力いただき募金活動を行います。



公民館の備品設置や公園遊具の修繕

くらし応援センター活動



園児と地域住民の世代間交流

お問合せ先

山梨県共同募金会笛吹市支会
(事務局：笛吹市社会福祉協議会)

TEL:055-265-5182



オンライン募金も受け付けています



障害者地域活動支援センター「ふえふき」



石和から春日居に移転しました!

支援センター「ふえふき」では、障がいをお持ちの方などの相談支援や活動の場として、デイケア、家事教室、畑作業、太鼓教室、絵画教室、映画サロンの開催、集団での活動が苦手な方には個別の活動、月1回は笛吹市内の各地区に出向き、外出や仲間づくりの場として「はじめてのいっぽ」というサロンも実施しています。活動に興味がある方は、お気軽にご連絡、ご相談お待ちしております。



畑作業



家事教室



デイケアで七夕飾り

住所 笛吹市春日居町寺本142-1 (春日居福社会館内)

電話 0553-34-8080

ホームヘルパーのほっこり話

自分らしい生活を取り戻す



退院後、病状の悪化が予測されながらも「ご本人らしい生活」を取り戻された方のご紹介をさせていただきます。その方はAさん、要介護3(96歳)の女性で、当初週3回訪問させていただき、現在は2回になっています。

訪問当初は一日中ベッドに寝ている状態でした。数回訪問する中でAさんの「出来る事」を見つけたいと考えていました。きっかけになったのは食事でした。「何を食べましょうか」の声かけに徐々に意欲的になられ、ヘルパーが訪問している時にはベッドに座ってくださるようになりました。そして徐々に一緒にメニューを考えヘルパーが調理したものの味見や、味付けをされるようになり、今では台所に立ち一緒に野菜の皮むきやカット等の下準備や調理、洗い物までこなしておられます。

また、パジャマ生活から毎日洋服に着替えレース付きエプロンを着て台所に立たれ、娘さんからプレゼントされたリボンの付いたブラウスを着てオシャレに気遣う前向きで素敵なAさんに戻られました。時には庭に出て草取りも出来るように体力も回復されております。今後もAさんの「出来る事」をもっと増やし「Aさんらしい生活」を支援させて頂きたいと思っております。

笛吹市社会福祉協議会 訪問介護事業所 TEL:055-265-5233



テーマ

知って得する 成年後見制度

どなたでも
ご参加いただけます

令和4年

日時

12月1日(木)

13時~16時

会場

笛吹市スコレーセンター
〒406-0035 山梨県笛吹市石和町広瀬 626-1



第12回大会の様子



定員 200名

第1部 記念式典 表彰状授与、感謝状贈呈
(13:00 ~ 14:00)

第2部 記念講演 (14:10 ~ 16:00)

「知って得する成年後見制度」

《行政説明》 成年後見制度利用促進に関する
笛吹市の取り組み等

市川 武男氏 笛吹市 福祉総務課 地域福祉担当
(成年後見制度担当部署) リーダー

《成年後見制度の理解を深める対談》

長田 優作氏 笛吹市社会福祉協議会
後見センターふえふき センター長

* 対談は事前に募集した質問への回答も検討しています *

私たちは、子どもから高齢者まで、市内に住む誰もが安心して幸せに暮らせる地域をつくることを目指してあります。

笛吹市社会福祉大会の第1部では笛吹市の安心して暮らせる地域づくりの発展に貢献された方々や今後の福祉活動が期待される方々への顕彰を行います。

第2部では、近年利用ニーズが増加しており、国・県・市が力をいれている成年後見制度について、制度を利用してどんなことができるのかを、弁護士が事例を用いて分かりやすくメリット・デメリットを解説します。

講師

松本成輔氏

あいおい法律事務所

弁護士

社会福祉法人大寿会 理事長

【役職等】

山梨県弁護士会平成28年度会長／山梨県弁護士会高齢者・障害者支援センター運営委員会元委員長、現委員／日本弁護士連合会高齢者・障害者権利支援センター元副委員長／関東弁護士会連合会高齢者障がい者に関する委員会現委員／関東弁護士会連合会人権擁護委員会元委員長、現委員／日本精神保健福祉士協会倫理委員会委員／山梨県精神医療審査会副会長／山梨県個人情報保護審議会会長／山梨県立北病院医療観察法ユニット外部評価会議委員／山梨県福祉施設経営指導事業経営相談員／その他、甲府市社会福祉協議会、甲斐市社会福祉協議会、北杜市社会福祉協議会などの各審議会の委員 など

【弁護士業務活動】

損害保険関係、交通事故、損害賠償等の事件及び福祉関係がメインである。

* 笛吹市社会福祉大会は第4次地域福祉活動計画の事業の一環として実施しております。

【お問合せ先】 第14回 笛吹市社会福祉大会 実行委員会 (事務局 笛吹市社会福祉協議会)

〒406-0822 笛吹市八代町南 917 TEL: 055-265-5182 FAX: 055-265-5183

主催：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

後援：山梨県社会福祉協議会、笛吹市、山梨県共同募金会、笛吹市議会、山梨県社会福祉士会、笛吹市医師会、山梨県精神保健福祉士協会、山梨県介護支援専門員協会、山梨県介護福祉士会、山梨県看護協会、山梨県医療社会事業協会、山梨県ボランティア協会、笛吹市連合区長会、笛吹市民生委員児童委員協議会、笛吹市介護保険事業者連絡会、笛吹市障害者団体連絡協議会、笛吹市ボランティア連絡会、笛吹市観光物産連盟、笛吹市シニアクラブ連合会、笛吹ライオンズクラブ、笛吹ロータリークラブ、笛吹市シルバー人材センター、笛吹市ゴルフ連盟、笛吹青年会議所、山梨県立大学、健康科学大学、帝京福祉専門学校、優和福祉専門学校、甲斐清和高等学校、山梨日日新聞社・山梨放送、NHK 甲府放送局、テレビ山梨、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、エフエム富士、ふえふき子ども子育て関係者連絡会、笛吹市食生活改善推進委員会 (順不同)